

## これまでの意見整理

### ①市民の安全・安心を支える庁舎

- ・免震構造を採用する。
- ・防災センターの機能として、乳幼児を誘導できる、避難できるような機能をきちんとつくる。
- ・庁舎内もしくは近隣に備蓄倉庫を備える。
- ・自家発電を備える。
- ・地区の避難所と防災センターとの情報等の連絡システムをきちんとつくる。
- ・IT を活用して安全・安心で、かつ誰もが利用しやすい庁舎にする。
- ・災害時の移動手段として、自転車やバイクを使えるようにする。
- ・自転車、バイクを一定数確保する。
- ・情報をすぐ発信できるようにする。
- ・生活する上で必要な水とエネルギー、食糧、トイレをきちんと整備する。
- ・駐車場を確保する。
- ・障がい者等が車いすで乗り降りができる、駐車スペースをきちんと確保する。

### ②誰もが利用しやすい庁舎

- ・ワンストップ窓口の設置。利用しやすい 1 階に総合窓口カウンターを設けるとともに、案内人を配置する。
- ・金融機関、ATM を設置する。
- ・いつでも利用できる、市民が憩える空間を設置する。
- ・コンビニ等で行政手続きができるような仕組みを作る。
- ・市民が打合せや小会議等ができる場所を設ける。
- ・受付カウンターの長さが長くないような配置・形態にする。

### ③バリアフリー・ユニバーサルデザインに対応した庁舎

- ・バリアフリーに関する基本事項は当然対応する。
- ・外国人対応のため、英語表記だけでなく他の言語表記への対応をする。